

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成26年10月2日(2014.10.2)

【公開番号】特開2013-91243(P2013-91243A)

【公開日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2013-024

【出願番号】特願2011-234707(P2011-234707)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月19日(2014.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被吐出媒体に対して液体を吐出するノズルを備えたヘッド部と、前記ヘッド部を制御する制御部とを備え、

前記制御部は、前記ノズルから前記被吐出媒体に対して前記液体を吐出するフラッシング動作を実行する際に、前記被吐出媒体の種類に応じたフラッシングデータに基づいて行い、前記フラッシング動作により前記被吐出媒体上に形成されるフラッシング画像の少なくとも一部の領域において、前記フラッシング画像を構成する複数のドットが互いに重なるように、前記ヘッド部を制御する

ことを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記フラッシングデータは、前記被吐出媒体の種類に応じ前記フラッシング画像の少なくとも一部の領域において前記ドットの重ね方が異なり、

前記制御部は、前記フラッシング動作時に、前記ノズル毎に複数回液体を吐出するように、前記ヘッド部を制御する

ことを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 3】

請求項 1 あるいは 2 において、

前記ヘッド部は、固定位置で前記液体吐出を実行し、複数のヘッドユニットに分割され、当該ヘッドユニット間で前記被吐出媒体の搬送と交わる方向について前記ノズルの位置が重なるオーバーラップ部があるものであり、

前記制御部は、前記フラッシング画像の当該オーバーラップ部によって形成される領域において、異なる前記ヘッドユニットに配置されたそれぞれの前記ノズルが形成する前記ドットが互いに重なるように制御する

ことを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 4】

請求項 3 において、

前記制御部は、前記フラッシング画像におけるドットの重なり具合が、前記オーバーラップ部による領域とその他の領域で同様となるように制御する

ことを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項において、

前記制御部は、前記フラッシング画像が前記被吐出媒体の予め定められた範囲内に入るように制御する

ことを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 6】

被吐出媒体に対して液体を吐出するノズルを備えたヘッド部を有する液体吐出装置における液体吐出方法であって、

前記ノズルから前記被吐出媒体に対して前記液体を吐出するフラッシング動作を実行する際に、前記被吐出媒体の種類に応じたフラッシングデータに基づいて行い、前記フラッシング動作により前記被吐出媒体上に形成されるフラッシング画像の少なくとも一部の領域において、前記フラッシング画像を構成する複数のドットが互いに重なるようにする

ことを特徴とする液体吐出方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の目的を達成するために、本発明の一つの側面は、被吐出媒体に対して液体を吐出するノズルを備えたヘッド部と、前記ヘッド部を制御する制御部とを備え、前記制御部が、前記ノズルから前記被吐出媒体に対して前記液体を吐出するフラッシング動作を実行する際に、前記被吐出媒体の種類に応じたフラッシングデータに基づいて行い、前記フラッシング動作により前記被吐出媒体上に形成されるフラッシング画像の少なくとも一部の領域において、前記フラッシング画像を構成する複数のドットが互いに重なるように、前記ヘッド部を制御する、ことである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

更に、上記発明において、好ましい態様は、前記フラッシングデータは、前記被吐出媒体の種類に応じ前記フラッシング画像の少なくとも一部の領域において前記ドットの重ね方が異なり、前記制御部は、前記フラッシング動作時に、前記ノズル毎に複数回液体を吐出するように、前記ヘッド部を制御する、ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

更にまた、上記発明において、好ましい態様は、前記ヘッド部は、固定位置で前記液体吐出を実行し、複数のヘッドユニットに分割され、当該ヘッドユニット間で前記被吐出媒体の搬送と交わる方向について前記ノズルの位置が重なるオーバーラップ部があるものであり、前記制御部は、前記フラッシング画像の当該オーバーラップ部によって形成される領域において、異なる前記ヘッドユニットに配置されたそれぞれの前記ノズルが形成する前記ドットが互いに重なるように制御する、ことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

更に、上記発明において、一つの態様は、前記制御部は、前記フラッシング画像におけるドットの重なり具合が、前記オーバーラップ部による領域とその他の領域で同様となるように制御する、ことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記の目的を達成するために、本発明の別の側面は、被吐出媒体に対して液体を吐出するノズルを備えたヘッド部を有する液体吐出装置における液体吐出方法であって、前記ノズルから前記被吐出媒体に対して前記液体を吐出するフラッシング動作を実行する際に、前記被吐出媒体の種類に応じたフラッシングデータに基づいて行い、前記フラッシング動作により前記被吐出媒体上に形成されるフラッシング画像の少なくとも一部の領域において、前記フラッシング画像を構成する複数のドットが互いに重なるようにする、ことである。